

平成27年度 第7回SD研修会

日 時	平成27年9月17日(木) 15:00～
場 所	宮崎国際大学 学長室
進 行	永田学長、山代事務局長
出席者	10名
研 修 内 容	
<p>学校法人会計基準に基づく決算書(計算書類)の読み方、財務分析について山代事務局長、鈴木総務部長が資料により説明を行った。</p> <p>1. 資金収支計算書 全ての収入と支出に動きと残高を見ることで、年間の資金規模を見たり、入出金についての予算管理に利用する。第一の目的は1年間の学校法人の経営活動の全てを支払資金の入出金で表示すること、第二の目的は年初と年度末の残高を表示すること。</p> <p>2. 消費収支計算書 学校法人は営利を目的としない「消費収支均衡主義」を取っているが、安定的な経営を行う上では、適度なプラスが必要であり、そのため「採算が取れた経営か」、「儲かっているか」を見る計算書が消費収支計算書である。その目的は、第一に当年度の消費収入と消費支出の内容を明らかにすること、第二に消費収支均衡の状態を明らかにすることである。</p> <p>3. 貸借対照表 学校法人が持っている資産とその財源の関係を明示するのが本表である。</p> <p>4. その他 (1) 主要財務比率について説明 人件費比率、人件費依存率、教育研究費比率、管理経費比率、帰属収支差額比率、教育研究活動収支差額比率、積立率、流動比率 (2) 主要財務比率の見方について 別表に基づき評価の見方を説明 (3) 本学の損益分岐点分析について 平成27(2015)6月時点での分析について、<u>経常的な支払を維持する学生数は362名、施設設備の更新・拡充資金を確保するための学生数は399名</u></p>	